

インフルエンザ

インフルエンザの流行は、毎年11月下旬から12月上旬ころに始まり、翌年の1～3月ころにピークを迎え、4～5月にかけて減少していきませんが、夏季に発生することもあります。流行の程度とピークの時期はその年によって異なります。



潜伏期間

1～3日



感染させるおそれのある期間

発熱1日前から3日目をピークとし、5日目ころまで

※小児は、7日目ころまでウイルスの排泄がありますが、低年齢患児では長引くこともあります。



感染経路

- ・飛沫感染(患者の鼻腔、咽頭、気道粘膜の分泌物から)
- ・接触感染



症状

症状がある期間：1週間程度

- 発病時：悪寒、頭痛、高熱(38℃以上)、咳、鼻汁
- 全身症状：倦怠感、頭痛、腰痛、筋肉痛、関節痛など
- 呼吸器症状：咽頭痛、鼻汁、鼻づまり
- 消化器症状：嘔吐、下痢、腹痛

※小児では中耳炎の合併、熱性痙攣や気管支喘息を誘発することもあります。

※重症化すると、肺炎や気管支炎、急性脳症を併発することがあります。



治療法

抗ウイルス薬を発症48時間以内に服用すれば症状を軽くし、罹病期間の短縮が期待できます。

※解熱剤が必要な場合は、なるべくアセトアミノフェンを使用します。



予防法

- ・うがい、手洗い(流水と石けんで十分に行う)
- ・咳エチケットの徹底
- ・流行期は人混みを避ける
- ・予防接種(任意)